

令和 7 年度 陽東中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

生徒一人一人の健康でたくましい身体，個性を生かした創造的な知性と技能，豊かな心情，強靱な意志，正しい社会連帯意識を養い自己実現を通して国家社会の進歩発展に貢献できる人間を育成する。

- (1) 自ら学び考える生徒（本気）
- (2) 豊かな心で思いやりのある生徒（勇氣）
- (3) 気力あふれるたくましい生徒（元氣）
- (4) 進んで活動をする生徒（根氣）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

国内外の政治・経済・環境・情報など社会の急激な変化に伴い，学校や生徒を取り巻く環境の変化や価値観の多様化が進む中，学校教育は様々な課題を抱え，それらへの対応が求められている。このような中において学校は生徒に確かな学力を身に付けさせ，豊かな心を育むこと，ひいては主体的な判断力をもち，これからの社会をたくましく生き抜くことのできる力を身に付けさせることが最大の使命である。その使命を果たすためには，教職員の専門職としての資質を高めることが重要である。また，規範意識やコンプライアンス意識を高め，生徒，保護者，地域社会に信頼される教職員でなければならない。そして，学校，家庭，地域がそれぞれの教育力を発揮するとともに，一層連携を深め，開かれた学校づくりを推進する必要がある。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 確かな学力の定着を目指して，教育活動のねらいを明確にし，分かる授業の実践と一人一人のよさを生かす活動の充実に努める。
- (2) 生徒が自主的，自発的に活動する場の充実に努め，基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに豊かな心の育成に努める。
- (3) たくましく生きるために健康や安全に留意し，自己の目標に向かって挑戦する活動の充実に努める。
- (4) 教職員の共通理解及び情報共有の下，配慮を要する生徒に対して組織体制を確立した指導に努める。
- (5) 温かく潤いのある教育環境づくりに努める。
- (6) 家庭や地域社会及び地域学校園との連携を深め，信頼される学校，地域とともにある学校づくりに努める。
- (7) 教育公務員としての自覚と責任をもちコンプライアンスを遵守するとともに専門職としての資質向上に努める。また，ICTを有効活用した校務の見直しや，組織的な対応を実践することにより，仕事の効率化を図るとともに，勤務時間を意識した働き方を推進する。

【陽東地域学校園教育ビジョン】

地域の教育力を生かし，地域とのかかわりを通して，確かな学力の定着を図り，心豊かでたくましく生きる子どもの育成

4 教育課程編成の方針

学習指導要領は「社会に開かれた教育課程」を実現するための方策として以下の3つを柱に据えている。

- (1) 地域・家庭との連携・協働により，「社会に開かれた教育課程」を実現する体制作り
- (2) 次世代に求められる資質・能力を，カリキュラム・マネジメントを通じて実現していくための組織運営や指導体制の在り方
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めるための教員の資質向上
このことを踏まえ，基礎学力の定着を図りながら，豊かな心を育成し生徒一人一人の個性や能力を伸ばして，夢をはぐくむとともに，地域とともにある学校づくりを目指し，組織としての取組を強化しながら特色ある教育課程の編成を行う。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

- ・ 学校経営への参画意識の高揚と組織的な企画・運営の推進
- ・ 学校や地域の実態に即した教育計画の作成
- 専門職としての研修の推進
- ・ 教育目標実現のための学年・学級目標の設定，具体策の明確化と実践
- ・ 組織体制を確立し連携協力した特別支援教育の推進

(2) 学習指導

- ・ 一人一人に学ぶ楽しさを体得させる学習指導の工夫（豊かな学び創造プロジェクト）
- ・ 市の方針を踏まえた授業時数の確保（実質的指導時間の確保）
- ・ 学習目標の明確化と振り返り，学習過程の工夫，達成状況の確認
- ・ 個に応じた学習の推進（習熟度別学習の充実等）
- ・ 国・県・市の学力調査等の円滑な実施と結果の分析活用
- ・ 主体的に考え表現できる言語活動の充実
- 自主的な学習習慣の定着を培う指導
- ICT活用の共有化による授業の効率化と学力の向上
- キャリア教育の充実
- ・ 「道徳」授業の円滑な実施と適切な評価
- ・ 道徳的实践力の醸成・向上

(3) 児童生徒指導

- ・ 豊かな心を育てる読書活動の推進
- ・ 認め合い支え合う集団づくりを通じた人権教育の推進
- 福祉・ボランティア活動の推進
- ・ 潤いのある教育環境づくりの推進
- 基本的生活習慣を身に付けさせる指導の充実
- ・ スマートフォンや携帯電話及びSNS等の正しい利用法の指導と問題の未然防止
- ・ 生徒のよさを見取り，自己有用感や自己肯定感を高める指導の充実
- ・ いじめ等の問題行動の未然防止と早期対応
- ・ 校内美化意識の高揚と清掃の意欲的な実践

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

- ・ 「部活動の方針」に基づく適切な部活動の推進・充実
- 体力の向上を目指す態度の育成
- ・ 発達段階に応じた薬物乱用防止，性に関する指導の充実
- ・ 感染症予防と健康管理能力の育成
- ・ 安全教育の充実・徹底
- 食に関する指導と望ましい食習慣の推進

【特色ある学校づくり】（「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ◇ 心をたがやす「花いっぱいプロジェクト」の実施 ・ 学区内公園清掃活動「町も心もぴかぴか活動」
- ◇ 昇降口前・中庭清掃（NFV「ニュー フリーダム ボランティア」）
- ・ 地区体育祭等へのボランティア参加 ・ ペットボトルキャップ・アルミ缶回収による車椅子寄贈
- ◇ 生き方を考えさせるキャリア教育（ドリームデザイン教室等）

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画 後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
-----------------------------	------	----------	-----	----

1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 アンケートの「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 主体的に考え表現できる言語活動を充実させ、生徒が「意見を出し合い、共に考える」学び合いの場を設定し、積極的な学習態度を育てる。 ② 生徒の考えを引き出し、深める発問や板書を工夫し、生徒が自分の想いや考えを自由に言える授業の雰囲気づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 アンケートの「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 →教職員肯定的回答 90%以上	① 道徳科の授業を中心に学校教育活動を通して、「思いやりの心をもって人と接するとともに、人間愛の精神を深めること」を指導していく。 ② 道徳科の授業を通して、「父母、祖父母を敬愛し、家族の一員として自覚をもって充実した生活を築くこと」を指導していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 アンケートの「私は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 →生徒肯定的回答 85%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 学年・学級目標、学校行事のスローガン等を教室に掲示し、それに向けての各自の目標を明確にするとともに、協力して目標に向かって努力する態度を育成する。 ② 目標を提示するだけでなく、定期的に振り返りを実施し、達成できない点を確認する。 ③ 「ドリームデザイン教室」等を実施し、生き方を考えさせるキャリア教育を実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 アンケートの「私は、健康や安全に気を付けて生活している。」 →生徒肯定的回答 85%以上 →教職員肯定的回答 85%以上	① 家庭科や保健体育科、給食等により健康への意識の高揚に努める。日常生活で感染症予防に努める。 ② 交通安全教室や避難訓練、登下校指導、日々の指導を行い、安全への意識高揚に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 アンケートの「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周り」と協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」「生徒は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している。」 →生徒肯定的回答 85%以上 →教職員肯定的回答 85%以上	① 自分自身を見つめなおし、長所と短所の理解に努め、目標に向かって努力する態度の育成を図る。 ② お互いの性格や意見を尊重し、協力し合いながら、課題解決につながる指導・助言をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 アンケートの「私は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 →生徒肯定的回答 80%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 英語で伝え合うことの楽しさを実感するために、様々な英語表現を用いた言語活動の場を多く取り入れた英語の授業を実践する。 ② ALTの給食や学校行事への参加などを通して、生きた英語に触れる機会を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 アンケートの「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」 →生徒肯定的回答 80%以上 →教職員肯定的回答 80%以上	① 各教科の授業で、宇都宮ブランド(郷土料理や大谷石、ジャズ、子育て支援等)について触れる。 ② 郷土の伝統と文化を大切に育てる態度を育てる内容項目の道徳の授業で、導入や教師の説話等で宇都宮について触れる。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 アンケートの「生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」 →生徒肯定的回答 80%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① chromebook等情報機器の基本的操作方法を習得し、有効に活用する技能を身に付けさせることで、情報活用能力を育てる。 ② 目的に応じた各種辞書・辞典や問題解決のための一般図書資料を積極的に利用する態度を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】

2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 アンケートの「生徒」は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 →生徒肯定的回答 80%以上 →教職員肯定的回答 75%以上	① 社会や理科、英語等の授業で、化石燃料などの有限な資源の枯渇に備え、太陽光や風力などの再生エネルギーに目を向けさせる。 ② 新聞記事やニュースなどの情報から、環境問題や災害、事故等を取り上げ、身の回りに起こっている出来事に関心を持たせる。 ③ 教室にポスターを掲示したり、パワーポイントや資料を使って視覚に訴える資料を準備したりして、周知を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）の実態に応じて、適切な支援をしている。」 →教職員肯定的回答 95%以上	① 特別な支援を必要とする生徒について、必要に応じて適切な対応ができており、今後も継続していくことで、生徒一人一人にとって居がいのある学校作りを目指す。 ② ユニバーサルデザインの重要性を教職員や生徒がより一層理解できるよう、共通理解を図る資料等を作成・配布する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 →生徒肯定的回答 90%以上	① 全校集会、学年集会、また学級活動を通して、「いじめをしない・させない・見逃さない」という意識をもたせる指導をしていく。 ② いじめ根絶集会などの生徒の自主的な活動を支援し、いじめが許されない行為であることへの更なる意識の高揚に努める。 ③ 道徳科の授業を通して、相手の立場や個性を否定する「いじめ」を絶対に許さないという道徳的実践意欲・態度を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 アンケートの「先生方は、一人一人を大切にし、生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の生徒を大切にし、生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 家庭との協力関係をより一層強めるために、保護者との電話連絡や家庭訪問をこまめに行い、SCや支援員との連携を密にすると共に、市教育センター等の関係機関との連携も強めていく。 ② 宮っ子ダイアリーの有効活用をより強く推し進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
3－(3) 外国人児童生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 アンケートの「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」 →生徒肯定的回答 90%以上	① 生徒が協力しながら意欲的・主体的に活動でき、達成感や自己肯定感を得られるような場を設定しつつ、特別な配慮を必要とする生徒にも学業指導の充実を図りながら、「居がいい」のある学校を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
3－(4) 多様な教育的 ニーズへの 対応の強化			
4－(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 →生徒肯定的回答 90%以上	① 生徒の学習意欲を喚起するとともに、「ねらい」「学び合い」「まとめ」「振り返り」を適切に位置付け、「分かる・できる授業」づくりに努める。 ② 個に応じたきめ細かい指導を行い、習熟度別学習やT・Tなど指導方法を工夫し、基礎・基本の定着を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 →教職員肯定的回答 85%以上	① 職員間の共通理解はもとより、外部関係機関及び地域ボランティアとの連携もさらに強めることで、業務の効率化を図っていく。 ② 教職員全員が、同じベクトルで目指す学校像に向かって業務が進められるよう、学校マネジメントシステムを生かしたPDCAサイクルを回していけるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 アンケートの「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 →教職員肯定的回答 70%以上	① 業務の効率化を図るとともに、業務に必要感をもって取り組めるよう、業務の第一義をしっかりと確認しながら業務に当たる。 ② 「リフレッシュデー」の確実な実施や各自のタイムマネジメント向上など、意識改革に取り組んでいく。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 アンケートの「学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 →教職員肯定的回答 90%以上	① 義務教育9か年で目指す子供像を明確にし、基礎期、活用期、発展期それぞれの到達目標を確認しながら、「重点化を図る指導内容」について、小中の情報交換を十分に行い、具体的な指導を積み重ねていく。 ② 小中協働の意識や小中一貫教育への参画意識を高めるために、分科会代表者会議及び運営委員会で、重点課題や具体策の確認などを話し合う。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 →保護者肯定的回答 85%以上	① 地域人材・学生ボランティアの効果的な活用を通して、地域と連携・協力した学習活動の推進を図る。 ② 家庭・地域・企業等と連携しながらキャリア教育や命の授業等における専門性の高い外部講師による講話等を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 →教職員肯定的回答 90%以上	① 安全点検の確実な実施と修繕に努める。 ② 清掃美化コンクールの実施により、清掃活動状況の改善が図られてきたので、今後も継続していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
6-(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 →教職員肯定的回答 85%以上	① ICTを活用するための環境を整えとともに、適切に活用した学習活動の充実が図れるよう指導力の向上に努める。 ② ICTを活用した学びの場を設定し、分かる授業を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 アンケートの「私は、時と場に応じたあいさつをしている。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 生徒会執行部、生活安全委員会等と協力し、あいさつ運動の充実を図り、その定着を目指す。 ② あいさつと返事がすべての集団活動の基本であることに気付かせ、学校生活のあらゆる場面での習慣化を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 アンケートの「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →教職員肯定的回答 90%以上	① 学年委員会などと協力し、5分前行動、3分前着席など、時間に余裕を持って行動できるよう働きかけていく。また、教師自らも率先して行動する。 ② 生活安全委員会などと協力し、更なる規範意識の育成やマナーの向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B 3 教職員は、「学校生活アンケート」や教育相談などを定期的実施し、生徒の悩みに適切に対応している。 【数値指標】 全体アンケートの「教員は、イヤな思い調査や教育相談などを通して、生徒の悩みに適切に対応してくれる。」 →生徒肯定的回答 90%以上	① 日常生活全般において校内巡回や宮っ子ダイアリーの確認、定期的な教育相談や「学校生活アンケート」(いじめ調査)を活用し、いじめへの即時対応や早期発見・未然防止に努める。 ② 「いじめゼロ強調月間」と関連して学級活動での話し合い活動の推進を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 4 生徒は、口腔の清潔(歯みがき・ぶくぶくうがい等)に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、歯みがきやぶくぶくうがいを実施し口腔の清潔に努めている」 →生徒肯定的回答 80%以上	① 担任教諭による日常指導や、生徒会保健委員会による定期的な広報活動や歯みがき・ブクブクうがいチェックを行い、衛生習慣を定着させる。 ② 地域学校園の取組(カラーテスター使用の歯みがきチェック等)を行い、家庭での丁寧な歯みがきの習慣化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 5 生徒は、体育の授業や体育的行事、部活動等に意欲的に参加し、体力向上に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、体育等の授業や体育的行事、部活動に意欲的に参加し、体力向上に努めている。」 →生徒肯定的回答 80%以上	① 体育の授業で補強運動等において工夫を凝らすとともに、生徒が意欲的に体育的行事や部活動等に参加できるよう、事前指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

B 6 教職員は、定期的に登校指導や下校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。」 →生徒肯定的回答 95%以上 →教職員肯定的回答 95%以上	① 年度初めの計画通りに、通学路において立哨指導をする。 ② 学校行事の後に集会を開き、全校生徒に注意喚起をする。また、学年集会や学級においても「自分の命は自分で守る。」指導を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 7 生徒は、校内外のボランティア活動へ積極的に参加し、自主性・主体性を身に付けるよう努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、校内外のボランティア活動に積極的に参加し、自主性・主体性を身に付けるよう努めている。」 →生徒肯定的回答 70%以上 →教職員肯定的回答 85%以上	① 生徒が校内のボランティア活動や、地区体育祭・文化祭等の行事へ参加しやすくなるよう情報提供を促すとともに、家庭・地域・企業等との連携を図り、生徒のボランティア精神を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 8 生徒は、交通法規を守り、交通安全に気をつけて登下校をし、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、交通ルールやマナーを守って登下校している。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →教職員肯定的回答 90%以上 →保護者肯定的回答 90%以上 →地域住民肯定的回答 90%以上	① 通学路において、危険な場所やマナーの悪い場所を確認し、立哨指導を行い、現状の把握に努める。 ② 必要に応じて集会や放送などで全校集会に注意喚起を行う。「自分の命は自分で守る」指導を徹底する。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 9 生徒は、食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康に努めている。」 →生徒肯定的回答 90%以上 →保護者肯定的回答 80%以上	① 栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、「食育だより」や給食時の放送などで食の大切さを理解させる。 ② 地場農産物の積極的な利用や、郷土料理や伝統料理を食べることを通して、感謝の気持ちを深めさせる。 ③ 食品ロスの削減や SDGs について学ぶことを通して、食に関する豊かな心を育ませる。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。